

TOWN

第71回「社会を明るくする運動」作文コンテスト優秀作品

⑫

日向地区推進委員会・保護司会推薦作品

「まあ、いいか」が犯罪の元

日向市立富島中一年 黒木 由称

みなさんは、赤信号で信号を渡っている人を見たことはありませんか。

私は見たことがあります。その人達は軽い心でやっているように見えました。しかもその人達は何度もくり返し行っていました。

その行動を見た時は、私は小学校低学年

しまいます。

この行動は犯罪です。

また、みなさんは、赤信号で車道を通っている車を見たことはありませんか。

この行動も犯罪です。

この行動はよく見かけます。車を運転している人をよく見ると、急いでいる人や、ナビを触っている人や、普通に青信号で通っているかのように運転している人などたくさんいます。

その中でも、一番危

ないと思ったのが、けいたいを触っている人と、先程も出て来たナビを触っている人です。何かをしながら別のことをするのは、とても危険です。ナビやけいたいを触っている間は、前を見ていないので、赤信号だということにも気がつかないでしょう。

もし、けいたいやナビを触って前を見ていない間に、前に人や車が向かっていたら、事故になります。最悪の場合、命を落とさせることになりかねません。

ん。とても危ないですよ。

すべては「まあ、いいか」という軽い気持ちで原因だと思っています。赤信号で渡ったり、通ったりすることが、どれだけ危険かということを経くみているのです。

自分の命、人の命を守るために「まあ、いいか」という甘い気持ちを捨て、命を守るために、ルールがあるということを再確認していこうと思います。

—— 随時掲載 ——

TOWN

第71回「社会を明るくする運動」作文コンテスト優秀作品

⑬

日向地区推進委員会・保護司会推薦作品

社会を明るくするためには

日向市立富島中一年 小田 結芽^{ゆめ}娃^わ

私は夏休み中に読んだ本があります。内容はじめについての本でした。今のこせいひぼろちゅうしょう、文字、言葉などでたくさん自殺が相次いでいる中で私ができることを考えました。

この世界で共通するものそれは言葉だと

思っています。たとえ

体に害があり、声で話せない人でも、文字をかけると思います。人と話せてコミュニケーションがとれるその場に

応じてはとも便利なものですが、使い方をまちがえると、人を簡単におとしめたり、もしかしたら死に

顔で同じ性格の人はいません。自分と性格が合わない、この人嫌だなど私も思ったことがあります。ですが相手に対して悪口を言ったとしてもそれは自分の感情のままに言ってしまう子が多いと思います。私も感情のままに動いてしまったり、発言したりしてしまうことがあります。ですがその時にはそのことを考えてみてください。自分がチクチク言葉を相手に言ったとして、相手が傷つかないか、

おいこむこともできます。私は、言葉ということをつくくと小学六年生のころの担任の先生が言っていたことをおもいだします。その担任の先生が言ったことは「言葉は使い方をまちがえば、だれでも殺すことができる凶器になる、使い方をまちがえるな。」

嫌な気持ちにならないか、自分がそのようなチクチク言葉を言われた時、どのような気持ちになるか考えてみてください。ですが、感情にまかせつきりで後のことを考えられない人もいると思います。私もそのようなことがあったので言えることだと思っ

す。ですが、その時にも六年生の担任の先生が「合わない人とはきよりをおけはいい。」と言っていました。あの人が〇〇ちゃんの悪

口言っていたよ。など本人に伝える必要がないと思います。

このように、言葉という語には、人それぞれ思っていることがある。ニュースなどで放送される、悪口に関する自殺事件は自分には関係ないと思ってる人がいると思う。でも言葉は世界で共通するものだ。私の発言で相手を傷つけているかもしれないというじかきを持ち、人それぞれが相手を気づかう言葉使い「ということを大切にしようと思う。私も言葉使いに気をつける。

—— 随時掲載 ——